

今月の特集：温泉入浴の作法

最

近は自宅にお風呂が普及して、普段からあまり銭湯などを利用しなくなり、マナーが悪い人が増えています。ただ、マナーマナーとあまり言いたくないし、あくまでも大人のたしなみとしての作法として捉えたほうが粹だと思いませんか。しかし、現実にはあまり、この作法を身につけている上品な大人は少ないのです。今回はそういった品格のない大人にならない為の作法をもう一度考えてみましょう。

1. 「下湯」の作法

お風呂に入る前かけ湯で体を流す事を下湯と呼びますが、最近では家庭用のお風呂の普及で、かけ湯をしないで入る方が増えていますが、大勢が入るお風呂では、かけ湯(下湯)をするのが作法です。

2. タオルは浴槽の中にひたさないのが作法

タオルで体を洗ったり、拭いたりします。貴方なら、さっきまでゴシゴシ体を洗っていたタオルをお湯の中にひたされていい感じがしますか？人がやっているいやな事をしないのが作法の基本です。

3. 飲酒後入浴はご法度

松之山温泉の旅館では、酔って入浴した為に、不幸な結末を迎えた方もいらっしゃいます。転んで怪我をする可能性も増えます。飲酒後、特に適量以上のお酒を飲んでの入浴はとても危険です。



夏のナスデビュウ湯の山

4. 「隠す」作法

あなたは隠す派、隠さない派？昔は隠すのが作法ですが、最近では自信のある方が増えたせいか、半々ぐらいになりました。特に、若い女性が大胆になったというのが、もっぱらの評です。伝統は、もちろん「隠す」です。

5 「跳ね湯」の作法

なるべく低い姿勢で湯をかけたり、周囲にお湯が飛び跳ねないようにするのが作法です。特にシャワーはお隣や後ろの人に掛からないようにするのも作法です。

6. 静かに温泉を楽しむのも作法

泳いだり、お風呂で走ったりするのはもう論外ですが、大声で話したりするのも作法に反します。仲間と来たり、久しぶりにバツリお風呂で会ったりすると、話に華が咲き、ついつい大声になりがちです

が。よい温泉は静かに嗜むのが作法です。

7. 温泉浴場は滑りやすいもの

浴場の石や床のタイルの部分は温泉成分が付着して滑りやすくなっています。お年寄りや、お子様は特に気を付けてください。

8. こんなお客様は困ります。

年代別やグループでお越しになっているお客様で目に付く事や、お願いしたい事をあげて見ました。

●特にご年配の皆様にお願い。

体中にサロンパスなどの湿布薬などを貼ったまま湯船に入るお客様がいるそうです、ツワモノになると、お風呂の中ではがす方もいるそうです。お客様同士注意すると、ここはそうしても良いのだと言われたという事ですが、そんなローカルルールがある訳がありません。作法以外の問題かもしれませんが、実際あったお話です。

●驚きの若者の行動

夏場、若者の団体がおいでになった時のお話ですが、脱衣場の下が濡れているのです。体を拭かないで出てきて、脱衣ボックスの前で初めて拭いているのでしょうか？床全体が濡れてしまっていたのは参りました。お掃除をしている時、こういった若者が親になった時、なんか怖い気がしました。

●小さなお子様をお連れのお客様

お子様は、ある程度元気に走ったり、また泣いたりするのは仕方ない事ですが、それを見てなにもしていない親や家族に問題がある気がします。一番困るのが、お子様を放置して施設内で遊ばせている例。お子様は元気に駆回ったり騒いだりして楽しいかもしれませんが、廻りで休んでいる全く関係ない方はたまったものでは有りません。こうした公共の場(パブリックスペース : public space)では騒いだりして他人に迷惑を掛けないように躡るのは親や家族の責任です。大変申し訳ございませんが、目に余るお子様は、我々も叱るようにさせていただきます。

●団体でお越しのお客様

観光バスだと 50 名近くの方が一度においでです。大勢受け入れる施設では有りますが、一度にそれだけの人数がお風呂に入ると大変混雑いたします。出来れば 15 分ほど時間をづらしてご利用いただけるとありがたいです。また、同じグループで大声でお話する方もおいですが謹んで頂けるとありがたいです。

今回は作法について色々書かせて頂きましたが、皆様も粋なお客様を目指されてはいかがですか。

温泉ソムリエ 高橋 樹男